
嫌気がさせば

夏氷/MDT128

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
嫌気がさせば

【Nコード】
N6874T

【作者名】
夏氷 / MDT128

【あらすじ】
一人の男と周囲の物品の奇妙な話。

ある一軒家。小さくもないし、大きくもない。いや、少し小さいか。しかし、一人暮らしのその男にとっては、ちょうど良い広さであった。

「あゝあ、暇だな」

その男は背もたれの緩やかな椅子に座り、大きくあくびをした。

窓の外には夕焼け空が広がっていた。

男は眠りかけ、やげて目を閉じようとした。しかし、それはできなかつた。

男の座っている椅子の脚の一本が、突然折れたのだ。

男は床に投げ出され、一気に目を覚ました。

「いたた！何が起こったというんだ」

男は椅子を調べたが、不審な個所は見つけられなかつた。

「おかしいな。他の脚は大丈夫そうだが」

すると、台所の方で物音がした。

「なんだ」

男が駆け寄ってみると、食器棚の扉が外れ、何枚かの皿が床に落ちて割れていた。

「これは一体……」

男が不思議がつっていると、背中の方で金属的な音が響いた。男が驚いて振り返ると、そこには包丁が落ちていた。

普段は専用のフックにかけて置いてあるのだが、そのネジが外れて落ちたらしい。

「危ないな。欠陥商品だったかな」

男は包丁を拾い上げたが、その包丁の刃はひどく磨耗していた。

「なんだこれは…昨日までは普通だったのに」

しかし、異変はそれだけではとどまらなかった。

ベッドの脚は折れ、物干し竿はたわんで地面に落ちた。

さらにはテレビの映像が乱れ、電源が消えた。

「何が起こっているというんだ…」

男はこの怪奇現象の中で、直感的にあることを悟った。

物が限界に達しているのではないかと。

自分たちは、物を酷使し続け、飽きたら捨てる。

長年愛用してきたものでも、機能しなくなると憐れみなく廃棄する。

彼らは、そんな非情でかつ自分勝手な自分たちに嫌気がさしたのではないか。

そうに違いない。そうとしか考えられない。

他に説明がつくものか。

「でも、こんなの、信じたくない」

彼が現状から目を背けているのをよそに、異変は続いていった。

涙でうるんだ彼の眼には、壁に亀裂が走っていくのが映った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6874t/>

嫌気がさせば

2011年10月9日04時13分発行